

卒後藤谷塾 議事録

開催日時：平成 30 年 12 月 12 日（水）7：00～8：00 場所：テレビ会議

近況報告

A：午後から病棟 4-5 人担当して、午前中は指導医と眼科や ER などにいる
電解質の補正などを特定行為としては行なっている
今後 NDC にいきたいという希望者がいるが次期に行けるはか不明

B：内科で活動している 医師と一緒に 8-10 人くらい担当している
在院日数を短くできているように感じている
退院後への方向性を見ながら動けるのが、特定ケア看護師の得意とするところだと思う
任せてもらっている分、医師の診察頻度が減っていると患者から言われる

C：整形外科の 20 人くらいの患者に、内科的な介入を担当している
困った時は内科の先生に協力を求める
超過勤務が多いのが現状問題

塾長→働き方改革の一助としても有益とされているのに、超過勤務が増えてしまうようでは
本末転倒 働き方を見直す必要がある

D：脳神経外科で 3 人分の患者だいたい 15-20 人くらいを担当している
受け持ちではなくフリーな動き方
超過勤務は問題になることもあるが、週 1 回半日で帰るようにしたりしてコントロール
している

E：ICU で看護師の教育的な関わりが多い 時々看護師の夜勤にも入っている
特定行為はちょこちょこやらせてもらっている

F：ER と整形外科で内科的介入を行なっている
医師が少なく、自分の行なったことへのフィードバックがなかなかもらえない

塾長→教えてくれる医師を派遣できないか考えていく
特定ケア看護師を教育できる医師を養成していくことが今後必要

G：整形外科で内科的介入をしている

バンパー式の胃瘻交換を週 1-2 回、麻酔科で A ライン挿入させてもらっている

整形外科で発熱などの問題があれば、内科にコンサルしてもらって内科の医師と一緒に関わっている

超過勤務は看護部で見てもらってはいるが、診療的な業務があるため医師と月 1 回ミーティングして、今後も増えているようであれば働き方を見直していく必要がある

塾長→今後在宅にも入っていく可能性があるが、近隣にステーションがあるので要調整

H：3 期生の区分別実習がきているので他科に及ぶような行為に関して、その調整（事務的管理、教員の関わり）を行なっている

他は変わらず ICU で働いている

I：混合病棟で看護師の夜勤をしながら、日勤の日に特定ケア看護師として活動している

看護師が少ないので、日勤でも看護師業務の割合が増えている

機会が減っているが、退院後訪問を実施している

J：今月から ICU で活動している 開心術後の関わりが一番多い

3 期生も ICU にいるので一緒に指導を受けている

3 期生がスムーズに手技を取れるように調整的な関わりをしている

NP と特定ケア看護師の間にできれば中立的な立場で入ってくれる人が欲しい

塾長→今後、NP と特定ケア看護師が入り混じってくるので、協働のための調整が必要

症例検討：老健での特定ケア看護師の介入の一例

* とてもいい症例なので、参考にしてほしい。

以上